

令和元年度 作業療法学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

岩井和子, 伊藤恵美, 大歳太郎, 木村大介, 森本かえで, 藤井啓介, 備前宏紀, 吉弘奈央

B. 研究活動の概要

作業療法学ユニットでは、個人や共同で、以下の研究を実施している。

1. 認知症高齢者の精神・行動障害 (BPSD) と自律神経の関連性
2. 認知症高齢者の精神・行動障害 (BPSD) に対するデータマイニングに基づく行動パターン解析
3. 眼球運動測定システムと近赤外線分光法の同時計測による新たな転倒予防介入プログラム開発
4. 近赤外線分光法を用いた運動学習における脳内メカニズムの解明
5. 近赤外線分光法を用いた機能的電気刺激による空間的認知への定量的効果に関する研究
6. 自閉スペクトラム症児に対する日常生活を支援する評価法や介入法及び機器の開発
7. 地域にクラス統合失調症をもつ人の体力に関する研究－社会参加及びリカバリーの視点から－
8. 精神保健専門職におけるエンパワメントの要因に関する研究
9. 障害を持つ方の職業リハビリテーションに関する臨床研究
10. ICT 利活用による障害を持つ方の社会参加等に関する臨床研究
11. 独居高齢者の健康支援に関する研究
12. 高次脳機能障害者の自動車運転評価に関する研究

C. 研究業績

1. 著書・原著

<著書>

森本かえで：レクリエーション 第3版 活動と参加を促すレクリエーション, 第3章 健康状態・疾患・障害の特徴に配慮したレクリエーション活動 19. 終末期. 近藤敏 (編) 三輪書店, 110 - 114. 2020. (印刷中)

伊藤恵美：人間発達とライフサイクル, 第3章 心身機能・身体構造の発達 3節 認知, 心理機能の発達. 辛

島千恵子 (編) 理工図書, 45 - 58. 2020. 1

吉弘奈央：夢幻の空間 半側空間無視の評価と治療の考え方, 第Ⅱ章 半側空間無視の臨床像と評価 第1節 半側空間無視の特性と評価 1. 机上評価の特性(適応・限界). 網本和 (編) ヒューマンプレス, 16 - 35. 2019. 9

<原著>

木村大介, 備前宏紀, 今井あい子：グラフ理論に基づくネットワーク解析を用いた認知症 BPSD に対する行動パターンの分析. BIO CLINICA 35 (4) : 46 - 49, 2020.3

久納健太, 豊田みのり, 備前宏紀, 藤井啓介, 木村大介：改訂長谷川式知能評価スケール (HDS-R) の結果に影響する神経心理学的要因の検討. 日本臨床作業療法研究 7 (1) : 26 - 30, 2020.3

Kenji Tsunoda, Yuki Soma, Naruki Kitano, Takashi Jindo, Keisuke Fujii, Tomohiro Okura : Acceptable walking and cycling distances and their correlates among rural older Japanese adults. Journal of Population Aging DOI : 10.1007/s12062-020-09272-9. 2020.2

若山修一, 堀田和司, 藤田好彦, 藤井啓介, 白石英樹, 藪下典子, 巻直樹, 中野聡子, 柳久子：地域在住高齢者における外出記録表を用いた外出支援プログラムの効果. ヘルスプロモーション理学療法 9 (4) : 167 - 174, 2020.1

Aiko Imai, Toshiyuki Kurihara, Daisuke Kimura, Noriko Tanaka, Kiyoshi Sanada: Association between non-locomotive light-intensity physical activity and depressive symptoms in Japanese older women: A cross-sectional study. Mental Health and Physical Activity Volume 18 <https://doi.org/10.1016/j.mhpa.2019.100303>, 2020.1

八田武志, 八田武俊, 岩原昭彦, 八田純子, 加藤公子, 藤原和美, 堀田千絵, 永原直子, 伊藤恵美, 長谷川幸治：高齢者における歩行速度・動作機動性と前頭葉機能

との関連について. 人間環境学研究 17 (2) : 89 - 96, 2019.12

Daiki Nakashima, Daisuke Kimura, Hidehiro Watanabe H, Fumihiko Goto, Miki Kato, Keisuke Fujii, Eri Kasuya, Naoki Tomiyama, Ryuichi Hasegawa : The influence of seasonal variations on physical activity in older people in mountainous agricultural areas. Journal of rural medicine 14 (2) : 165 - 175, 2019.11

横井伽折, 伊藤恵美 : 在宅がん経験者における罹患後の仕事と余暇活動の変化に関する質的研究. 作業療法ジャーナル 53 (12) : 1279 - 1286, 2019.11

中村浩哉, 木村大介, 山田和政 : 希望者と非参加希望者が混在した院内デイケアにおける非参加希望者の介入効果の検討. 健康レクリエーション研究 15 : 11 - 17, 2019.9

石川真太郎, 木村大介, 今井あい子, 山田和政 : 作業遂行に影響する要因の予備的研究. 健康歴リレーション研究 15 : 61 - 64, 2019.9

倉澤茂樹, 立山清美, 大歳太郎, 塩津裕康, 横井賀津志 : 特別支援学校における医療の専門家への相談 - ICF - CY を用いた全校調査による各職種の特徴 -. 作業療法 38 (4) : 387 - 395, 2019.8

渡邊雄介, 大歳太郎, 滝口哲也, 高田哲. 小児期における線描スキルの定量的評価に関する研究 : 小児の精神と神経 59 (2) : 191 - 198, 2019.7

倉澤茂樹, 立山清美, 岩永竜一郎, 大歳太郎, 中谷謙, 横井賀津志 : 日本における自閉症スペクトラム障害の診断年齢 - 種別の検討 -. 保健医療学雑誌 10 (1) : 34 - 41, 2019.4

田原涼馬, 木村大介, 石川真太郎, 山田和政 : 動の種類による長期臥床患者の自律神経活動の変化に対する検証. 岐阜作業療法 20 : 11 - 13, 2019.4

石川真太郎, 木村大介, 今井あい子, 山田和政 : 回復期リハビリテーション病棟入院患者における生活行為聞き取りシートの再現性に関する検討. 岐阜作業療法 20 : 14 - 16, 2019.4

木村大介 : 認知症のBPSDに対するデータマイニングに基づく行動パターン解析に関する研究. Medical Science Digest 45 (13) : 22 - 24, 2019.4

2. 総説・解説

藤井啓介, 藤井悠也, 佐藤文音, 大藏倫博 : ひとり暮らし高齢者に必要な健康支援. 地域ケアリング 22 (2) : 52 - 55, 2020.2

3. 学会発表・学術講演

<学会発表>

立岡光臨, 慎少帥, 劉珏, 藤井啓介, 大藏倫博 : 高齢者における下肢巧緻性と自動車運転事故およびヒヤリハット経験の関連性. 第19回日本体育測定評価学会. 福井. 2020.3.1

森本かえで, 干飯純子, 四本かやの, 北岡祐子, 田中千都, 橋本健志 : 精神や発達に障害がある方への防災ワークショップと防災ハンドブックの開発の試み~就労移行支援事業(創)C.A.Cでの実践報告~. 第27回日本精神障害者リハビリテーション学会. 大阪. 2019.11.24

窪優太, 則竹賢人, 中島大貴, 藤井啓介, 山田和政 : 高齢患者における Phase angle を用いた栄養状態の評価. 第3回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会. 静岡. 2019.11.15

福井信佳, 大歳太郎, 橋本卓也 : 高学歴発達障がい者の就業期間に影響を及ぼす要因. 日本職業・災害第67回日本職業・災害医学会学術大会. 東京. 2019.11.10

Emi Ito, Hajime Tanaka, Ayami Yoshihara : Evaluation of on-road driving abilities in patients with neurocognitive dysfunctions using the event data recorder. 23rd World Congress of Social Psychiatry. Romania, Bucharest. 2019.10.27

Kazuko Iwai : The factors of mental health staff's empowerment on the job of community care. 23rd World Congress of Social Psychiatry. Romania, Bucharest. 2019.10.27

Keisuke Fujii, Yuya Fujii, Tomohiro Okura : Relationship between life function and occurrence of long-term care in Japanese older people living alone.

The 11th Asia/Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics, Taiwan. 2019.10.24

Yuya Fujii, Keisuke Fujii, Takashi Jindo, Naruki Kitano, Kenji Tsunoda, Tomohiro Okura : The impact of exercise with others on mortality in rural older adults : a 3-year follow-up survey from Kasama study. The 11th Asia/Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics. Taiwan. 2019.10.24

Jue Liu, Yuya Fujii, Keisuke Fujii, Joehoon Seol, Tomohiro Okura : Differences in the association of falls with crash involvement between frail and healthy older drivers. The 11th Asia/Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics. Taiwan. 2019.10.24

藤井啓介, 藤井悠也, 磯野香代子, 大藏倫博 : ピラティス教室に参加した中高年女性の認知機能に関する追跡調査. 第74回日本体力医学会. つくば. 2019.9.20

劉珏, 藤井悠也, 藤井啓介, 薛載勳, 立岡光臨, 大藏倫博 : 身体的フレイルを有する高齢運転者の身体・認知機能および交通事故発生率. 第74回日本体力医学会. つくば. 2019.9.20

城寶佳也, 藤井啓介, 藤井悠也, 大藏倫博 : 地域在住高齢者における定期的なスタティックストレッチングの実践と抑うつ度の関連. 第74回日本体力医学会. つくば. 2019.9.20

井上大樹, 城寶佳也, 藤井啓介, 大藏倫博 : 椅子立ち上がり動作時の地面反力は地域高齢者の身体的フレイルを反映するか. 第74回日本体力医学会. つくば. 2019.9.20

藤井悠也, 藤井啓介, 神藤隆志, 北濃成樹, 角田憲治, 大藏倫博 : 地域在住高齢者における運動仲間の存在と要介護発生率との縦断的関連 : 「誰と運動するか」に着目した3年間の追跡調査. 第74回日本体力医学会. つくば. 2019.9.20

立岡光臨, 慎少帥, 劉珏, 井上大樹, 藤井啓介, 尹之恩, 大藏倫博 : 高齢者の下肢の巧緻性動作評価法に関する基礎的研究 - 性差および年齢差の検討 -. 第74回日本体力医学会. つくば. 2019.9.20

倉澤茂樹, 立山清美, 大歳太郎, 塩津裕康, 横井賀津志 : 特別支援学校の教員による医療の専門家への相談 - ICF-CYを用いた全校調査 -. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.7

岸早紀, 備前宏紀 : アルツハイマー病患者における神経心理学検査の難易度について. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.7

長瀬莉子, 岸早紀, 備前宏紀 : 物忘れの主訴がある高齢者における脳画像検査と神経心理学的検査との関連性. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.7

藤田好彦, 若山修一, 藤井啓介, 堀田和司 : 地域在住高齢者を対象とした生活範囲の違いによる認知機能・身体機能の比較. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.7

澤田省吾, 備前宏紀, 木村大介 : 物忘れの主訴がある高齢者におけるアルツハイマー病とレビー小体型認知症の特徴の違いについて. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.7

大歳太郎, 片山裕代, 五十嵐千尋, 大歳美和, 中井靖 : 自閉スペクトラム症児における感覚の偏りに関する追跡調査. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

備前宏紀, 木村大介, 大歳太郎, 吉弘奈央, 水野(松本)由子 : 運動学習課題における脳の経時的な機能変化について - 近赤外線分光を用いた検討 -. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

藤井啓介, 北濃成樹, 堀田和司, 大藏倫博 : 独居生活が高齢者の認知機能に与える影響 - 4年間の縦断研究およびIADL能力の媒介効果 -. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

若山修一, 藤田好彦, 藤井啓介, 堀田和司 : 地域在住女性高齢者における外出頻度の改善を規定する要因 - 首尾一貫感覚(SOC)に注目して -. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

木村大介, 備前宏紀, 富山直輝, 今井あい子 : 心拍変動解析による自律神経活動からみたストレス状態がその後のBPSDに与える影響. 第53回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

石川真太郎, 木村大介, 今井あい子, 山田和政: 在宅復帰後の作業遂行とストレスに関する検討—自記式作業遂行指標 (SOPI) と心拍変動解析を用いて—. 第 53 回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

今井あい子, 真田樹義, 木村大介, 栗原俊之: 地域在住高齢女性の抑うつに関連する身体活動の強度とタイプ. 第 53 回日本作業療法学会. 博多. 2019.9.6

坂井一也, 木村大介: 臨床実習課題と今後の臨床実習指導の在り方の検討～症例報告レポートからプレゼンテーション課題に変更して～. 第 32 回全国リハビリテーション学校協会 教育研究大会. 春日井. 2019.8.23

Kenji Tsunoda, Yuki Soma, Naruki Kitano, Takashi Jindo, Keisuke Fujii, Tomohiro Okuro: Determinants of initiating and continuing cycling travel among rural older adults: 4-year follow-up study. 2019 Asia-Singapore Conference on Sport Science. Singapore. 2019.7.18

豊田みのり, 木村大介, 横山真也, 山田和政: 改訂長谷川式簡易知能評価スケールの結果に影響する神経心理学要因の検討. 第 23 回岐阜県作業療法学会. 高山. 2019.6.16

吉原理美, 田中創, 伊藤恵美: 高次脳機能障害者に対する安全な運転再開への取り組み. 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸. 2019.6.13

Jieun Yoon, Keisuke Fujii, Satoru Tanigawa, Takuya Yoshida, Yuya Fujii, Korin Tateoka, Tomohiro Okura: Assessment of the relationship between athlete's physical ability and physical condition. 2019 European college of sport science. Czech Republic. 2019.6.3

立岩慧士, 木村大介, 久納健太, 海光琢磨, 山田和政: 課題指向型アプローチ実施時の報酬系の賦活に関する検討. 第 6 回日本臨床作業療法学会. 浜松. 2019.5.13

久納健太, 木村大介, 立岩慧士, 海光琢磨, 山田和政: Shaping と Task practice 実施時の報酬系の賦活の特徴. 第 6 回日本臨床作業療法学会. 浜松. 2019.5.13

4. 研究費獲得状況

<科研費>

大歳太郎 (研究代表者): 模倣時の脳活動と眼球運動の同時計測による自閉スペクトラム症児の評価・介入法の開発. 基盤研究 C: 19K11380, 2019.4 ~ 2023.3

大歳太郎 (研究分担者): 自由会話プロソディの音声解析による自閉スペクトラム症児の質的言語能力評価ツール開発. 基盤研究 C: 19K12911, 2019.4 ~ 2022.3 (研究代表者: 中井靖)

木村大介 (研究代表者), 大歳太郎 (研究分担者): 認知症の BPSD に対するデータマイニングに基づく行動パターン解析に関する研究. 基盤研究 B: 18H03122, 2018.4 ~ 2023.3

藤井啓介 (研究代表者): 社会交流水準の高い地域に暮らす独居高齢者は抑うつリスクが低いのか. 若手研究: 18K13035, 2018.4 ~ 2022.3

大歳太郎 (研究分担者): 通常の学級に在籍する児童への作業療法士のコンサルテーション・モデルの実証的研究. 基盤研究 C: 18K02766, 2018.4 ~ 2021.3 (研究代表者: 倉澤茂樹)

備前宏紀 (研究代表者): 近赤外線分光法及び高次多変量解析を用いた運動学習における脳内メカニズムの解明. 研究活動スタート支援: 18H06424, 2018.4 ~ 2020.3

伊藤恵美 (研究分担者): 長期縦断研究に基づく個人差を反映した高次脳機能維持のための介入プログラムの開発. 基盤研究 B: 17H02647, 2017.4 ~ 2020.3 (研究代表者: 八田武志)

伊藤恵美 (研究代表者): ドライブレコーダーを用いた高次脳機能障害者の実車運転評価法の開発. 挑戦的萌芽研究: 16K12930, 2016.4 ~ 2020.3

岩井和子 (研究代表者): リカバリーを促進する精神保健専門職の態度とエンパワメントに関する研究. 基盤研究 C: 16K04144, 2016.4 ~ 2020.3

5. その他

藤井啓介, 北濃成樹, 堀田和司, 大藏倫博: 第 53 回日

本作業療学会最優秀賞

D. 社会活動・その他（講演）

＜社会活動＞

伊藤恵美：日本作業療法士協会事例報告登録システム審査委員

岩井和子：日本作業療法士協会事例報告登録システム審査委員

岩井和子：第54回日本作業療学会演題審査委員

岩井和子：「精神障害とリハビリテーション」編集委員会副委員長

岩井和子：「精神障害とリハビリテーション」誌査読委員

大歳太郎：第54回日本作業療学会演題審査委員

大歳太郎：保健医療学学会「保健医療学雑誌」副編集委員長

木村大介：第54回日本作業療学会演題査読委員

木村大介：保健医療学学会「保健医療学雑誌」査読委員

備前宏紀：第54回日本作業療学会演題審査委員

＜その他（講演）＞

岩井和子：NPO法人ハートライン松本スタッフ研修「地域包括ケアと精神障害者支援」, 2020.2.21

岩井和子：愛知県三好市精神保健福祉部会主催 講演（「先進諸国の精神保健をめぐる変化～リカバリーの歴史～」及び、シンポジウム「私のリカバリーストーリー」シンポジスト, 2020.1.25

伊藤恵美：関西医療大学 公開講座 シンポジスト, 「がんと共生：作業と向き合う」, 2019.10.19

大歳太郎：関西医療大学 公開講座 シンポジスト, 「あそびや作業をととした発達障がい児支援」, 2019.10.19

森本かえで：関西医療大学 公開講座 シンポジスト, 「仕事と作業、そして、人生の移行期について」, 2019.10.19

木村大介：関西医療大学 公開講座 シンポジスト, 「“作業”をすることの意味を再考する」, 2019.10.19

森本かえで：終末期緩和ケア作業療法研究会 第10回年次研修会 特別講演 シンポジスト, 「今、キャリア・デザインを考える～あなたのキャリア・アンカーは?～」, 2019.10.6

大歳太郎：神戸市社会福祉協議会, 神戸市総合児童センター, 神戸市発達障害者支援センター主催 発達障がい支援者サポート事業 講師, 「作業療法②」, 2019.6.29

大歳太郎：神戸市社会福祉協議会, 神戸市総合児童センター, 神戸市発達障害者支援センター主催 発達障がい支援者サポート事業 講師, 「個別支援計画②」, 2019.6.29

森本かえで：認可保育所ほっぺるランド 2019年度保護者向け子育て講座 講師, 「スマホ育児について考える：絵本を通じた親子のコミュニケーション」, 2019.6.16

大歳太郎：神戸市社会福祉協議会, 神戸市総合児童センター, 神戸市発達障害者支援センター主催 発達障がい支援者サポート事業 講師, 「作業療法①」, 2019.6.1

大歳太郎：神戸市社会福祉協議会, 神戸市総合児童センター, 神戸市発達障害者支援センター主催 発達障がい支援者サポート事業 講師, 「個別支援計画①」, 2019.6.1